

大原草紙

第86号
令和6年1月
新春号

私の大原ベストポジション



アレは運動場で

草生町 西田 誠



沢山の思い出が詰まったこの校舎。
アレは70年以上前、私の小学校2年生のある日、運動場で起きた。

新制中学校の生徒が二人、4年生のK君に近付き、一人が「君はK先生の子か」K君が「ハイ」と返事すると、いきなりポカポカと殴り始めた。もう一人があわてて止めに入った。Kくんが甲高い声で「なにそんなですか」と叫ぶ。殴りかかった中学生が泣きながら大声で「お前のオヤジがうちのアニに兵隊に行けと言った。戦死したんやアニを返せ」と叫んだ。止めた中学生がひるんだ。Kくんが「ボク関係ないやんか」中学生が泣きながらさらに殴りかかる。隣の中学生がようやく止めてそこは収まった。その後、ひたいの広いK先生の姿を見ることはなかった。

アレは今も鮮明に覚えている。軍事教練が熱心な先生と語られた。K先生もあの時代の犠牲者。

近年平和を脅かす話題が多い「新しい戦前」とまでも。国を守る大義名分が高まり圧力がさらに強まるうとも、先生が教え子を戦場に送り出す手伝いはやめて欲しい、絶対に。

京都大原
里づくり協会



新年のご挨拶

理事長 西田誠



2024年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。3年間に及ぶ新型コロナウイルスの感染防止のための行動抑制も緩和され、徐々に従来の生活が回復、また、新生活様式が始まりました。アフターコロナの活動は、大原地域の人と人の結びつきを高めるよう努めます。

■会費を4年振りにお願いしました。11月8日現在74名の方から納入頂きました。また、当協会の活動目標にご賛同を戴き匿名様金3万円のご寄付を戴きました。有難うございます。申すまでもなく活動の源泉は会費収入であります。皆さまの浄財を大切に活動に活かしてまいります。引き続き会員募集を行っております。是非会員になって頂きますようお願い申し上げます。

■高齢者の居場所づくりについて 関係各種団体と連携し大原文化センター(旧J A大原支店)を拠点に映画会やレコード鑑賞会を昨秋から始めました。そこで見たり、聞いたり

できるレコードやDVDの寄付を戴きました。皆さまご提供頂けるレコード等があれば是非ご連絡ください。

■新規住民の皆さんを交えて

大原各町の里歩き
各町の伝説・史跡を訪ねます。具体的には暖かくなる3月以降ご案内します。ご参加ください。

アフターコロナで今年やりたい事

理事 是恒千鶴子



少しづつ日常が戻ってきましたね。今年「里協」で取り組みたい事！いっぱいありますが、まずは、「大原10名山を歩こう」の継続です。プレ企画の皆子山から始まり、金毘羅山、焼杉山、瓢箪崩山、水井山と歩きました。3歳から83歳まで、幅広い年齢層です。それぞれのペースで楽しく歩いています。気候や熊騒動で変更もありますが、安全第一にしながら歩きたいですね。次いで、昨年立ち上がった「太鼓サークル」親子でたくさんの方に参加して頂いています。今年も、地域でお披露目の機会があると思います。そして、「大原各町の伝説・史跡めぐり」を今年もぜひやってほしいと思っています。各町の長老さん！是非ご協力下さい。楽しみにしています。今からわくわくです。

大原文化センター

からのお願い

理事 上田壽一



昨年6月よりJ A大原支店の閉店に伴い跡地に「大原文化センター」が歩み出しました。開所と共に歩みながらイロイロ揃えています。左記の事項にご協力をお願いします。

■支援者募集

(文化センター無料使用可)
団体 年額一口 一万円から
個人 年額一口 一千円から

アフターコロナは「復活楽しい集いの場」づくりを

理事 佐々木春美



去る10月13日、大原文化センター(J A跡地)でかつての名画「ローマの休日」の映画鑑賞会がありました。オードリー・ヘップバーンの初々しい美しさが印象的で、懐かしかったの聲がぎょうさん！当日は24名の参加がありました。この催しは、五団体による(京都大原里づくり協会、大原地域社会福祉協議会、高齢サポート大原、左京健康友の会、左京区社会福祉協議会)「居場所連絡会(仮称)」によるものでした。お年寄りをはじめ、色々な年齢層の方達のホッと出来る居場所が作れたら、を

■スタッフ募集

火・木・土・日 14時～16時

時間給五〇〇円

仕事・掃除作業を少々

■無償提供のお願い

古本、本棚、一輪車

■「大人の 大原提言」発表者募集

時期・令和六年二月中旬発表

時間・約15分

■連絡先

山下勉

090・7102・1126

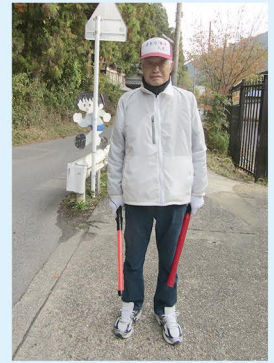
上田壽一

075・744・3138

目的に作られた会です。私は里づくり協会から、是恒さんと共にこの連絡会に加わらせてもらいます。次回は、大原の方々から仰山寄付してもらったレコードを鑑賞する会(その節はおおきに有難うございました!)その次は、アコーディオン演奏をと計画しています。中々集まりにくかった時を経て、ようやく笑顔が見合える日々になってきました。これを読はった方々も「アレをやりたい」とぜひ聞かせて下さい!

昨年は、アサギマダラ等の蝶が来てくれ大原の自然がより豊かになる様にと、藤袴の苗を配りました。その方々から「美しく咲きました」の声や、Tさんからは写メまで送ってもらい嬉しかったです。オオキニ!

第5回 京都大原 里づくり協会賞



登校班見守り隊の小田信夫さん

私たちの身近な場所で「大原の里づくり」をされている方々の活動を感謝し、ご紹介する「京都大原里づくり協会賞」令和5年度は草生町の小田信夫さん。

草生町牛ヶ首に登校班は集合、学校まで徒歩2〜3分、しかし用事の無い日は9時まで校門前横断歩道で生徒や「わらんべ」の幼児見守り隊です。現役時代は京都府警の警察官、現在、京都下り松道場で週2回数名の有段者と子供達に剣道の指導を行っている。7段で本当は猛者（もさ）。若い現役剣士は4段や5段。7段との違いは何かと問うと、現役は相手のスキを見逃さず打ち込む。6段以上は「後の先、相手の心を読む、昇段試験は苦勞でした」と話される。どこかの国のソーリは見習ってほしい適材適所です。



大原十名山登山会

11月23日 十名山登山会は水井山
大人も幼児もみんなで
大原の山に登ろう!!

今回は全国的に騒がれている熊問題があり、慎重に選定して大原東部の最高峰水井山。晩秋の一日を全員無事登頂して楽しい登山会でした。



大原消防分団

年末・年始 安全、安心の大原の里

消火訓練

11月12日。秋から冬へかけあ
しで寒さが迫ってくる、火を使
う事の多くなるシーズンを前に、
左京消防団大原分団では前川分団長以下
役場橋親水公園で消防器具の点検と、放
水訓練を行った。特にこの日の訓練は消
火用の水利条件の悪い場所を想定し、動
力ポンプ2台を連結しスムーズに消火活
動が出来るよう団員の基本動作の確認と
共に念入りに訓練を実施した。



マンガ最終回です。
感謝の気持ち一杯です。東 恒男

創刊号が発行され、素人の拙いマンガを
連載出来ることになり二十余年続けさせて
頂きありがとうございます。編集の西田
誠さんと読者の皆さんに感謝しています。
大原草紙がいつまでも続くことを期待し
ています。



大原の里 復活・改善・発展



昨年春5月、4年ぶりに新型コロナウイルスの感染対策の緩和。アフターコロナの「大原の里を復活・改善・発展」のキーワードで3回にわたって追いました。今回は

○10月10日、復活7回目の「惟喬親王ゆかりの地のつどい」は勝林院堂で藤井宏全寶泉院住職を導師に法要と大原古文書研究会の上田壽一さんの講演で4年ぶりに京都大原里づくり協会と大原伝統文化保存会の共催で開催しました。

戸寺町のフジバカマ園

大原のオオムラサキを守る会
藤野 適宏



このフジバカマ園は、下京区杉本家の庭園にあった大原由来のフジバカマを譲り受け移植したものです。旅する蝶として知られるアサギマダラの飛来を心待ちしながら大切に育てています。(戸寺フジバカマ園の説明パネルより)

大原文化センター

の賑わいから

左京区選出 市議員を囲んで懇談会



11月4日、午後7時から大原文化センターの呼びかけで左京区選出の市会議員さんを招いて懇談会が開催されました。8名の議員さんのうち所用で欠席は1名でした。

司会の上田壽一さんからテーマとして
① 大原文化センターの役割の提起
② 議員のみなさんが大原に望まれること
③ 今、大原が抱える諸問題
を中心に、懇談会は和やかに進められ、予定の午後9時を少し過ぎるまで、今後、年に1回程度開催する予定です。

和太鼓サークル誕生しました

是恒 高洋

10月より和太鼓サークルをスタート出来ました。大原文化センターで第2、第4水曜日の18時から2時間練習をしています。入会されたのは、小学校低学年から高齢者さんまで幅広く！親子もお1人の方も！全員初心者ですが、楽しんで太鼓叩いています。春には発表会したり、どこかのお祭りやイベントで演奏させて貰えたり出来たら良いなと思ってます。



大原野の方から

大原の方へ

京都新聞の読者なら「翠の記」をご存知でしょう。草生町の山本陽平さんの写真と講演会「大原野の方から大原の方へ」が大原文化センターで12月3日午後開かれました。新聞社のカメラマンの目と話はこの地にドップリ漬かりこんだ者にとって新鮮さと自省のひと時でした。



野村町の「湯上げ式」



大原の民衆のイロイロな伝統行事を長く伝える野村町奥田和義町内会長を訪ねました。

野村町は「乙が森や花尻の森」を祀る家々、長く伝わる「十一面観音立像と菩薩半跏涅槃像」、寂蓮法師ゆかりの寂蓮寺跡、良暹法師庵跡など。そうして飯導寺神社は氏神さん。

奥田さんは「秋の湯上げは野村町では昔から神事と若者の相撲大会があった。来年から江文神社で各町まゝとめて行われるので、今年が最後。それならと、境内に皆さんのご協力で土俵場を復活、神さん相撲を奉納した。」



《野村町でも宮座の維持は困難ですか》

「5人組が出来ない、自分も町内会長を5年務めた。町内会長はこれ以上ヤルものではない」

《飯導寺神社の再興に務められたし皆さんの期待も大きいと聞くが》
「長くやるとよくない、子育て世代も減って大変だ。しかし、次の野村町プランを描いている。」

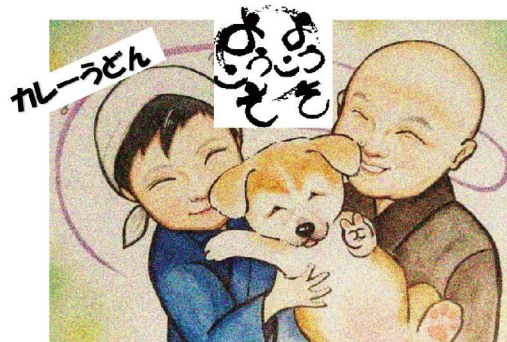
カレーうどん まんぷく

上野町の朝市会場左隅

火曜日定休 (11:30~18:00)

第3週は火曜、水曜と連休

Tel 075-744-2015



80歳への指標

池田定男



人間70歳を過ぎると「あと何年くらい生きるのだろうか」など、今までは考えなかったことを、ふと考えたりもする。例えば、今の日本の平均年齢は男性81.05歳、女性87.09歳。この数字がひとつの目安になっているかも知れない。80歳を指標とみれば分かり易い。私の場合、7年後である。

今夏、上述の絡みで、それがどのようなものか試してみた。因みに50年以上も会っていない友達に会うことにした。難しくはないであろうと踏んでいたが、いざ突き止めるのに予想外の手間暇がかかった。住所、連絡先、実際の所在。そして苦労のはての再会。ところが張本人である相手が全然こちらのことを覚えていない。51年前にあったいろいろな出来事、二人だけの共通の話題にも覚えがないという。私は本心から彼の顔をまじまじと見つめた。同級生を語る詐欺師かなにかに疑われているのか、或いは老人性痴呆症でも患っているのか。これなら前もって連絡でもしておいた方がよかった。突然の出会いで驚く相手の顔が見たかった、と思う私の考えが甘かった。私も遂に折れ諦めた。51年ぶりに会え

たというだけでいいではないか。相手が思い出さなくても自分自身が満足したならば、今回の行動はいい経験になる、自らを慰めた。

ところが、である。10日ほど経ったある日、その彼から突然の封書が届いた。「前回わざわざ大原の遠いところから来てくれたのに、思い出せずに悪かった」という詫び状である。初恋の相手から手紙がきたような感動があった。やはり自分の思いにまかせて動いたことに救われた。4〜5日経つと、また封書で「大原へ寄せてもらったこと、泊めてもらったこと。大原のことを大原野にいる友達と勘違いしていた」等、つらつらと書いてあった。あたらしく電話番号も記されていた。私の方としても、ここまで相手方が身を低くして謝辞の気持ちをあらわし、2通もの封書を送り寄せたことに感謝し、「大原に来ることがあったら、是非とも寄ってくれ」との礼状の葉書を送っていただいた。

人生はいろいろである。やらないで後になって悔いるよりも、やってみて駄目ならばまた諦めもつくではないか。常日頃そう心掛けている。思い残すことがないように、確実に残り少なくなっていく毎日を自分の身の足で歩きたい。

《本紙前号に古知平町の丸山啓史さんから寄稿頂いた「スクラップヤード」その後どうなったのか。古知平町の河上敏一さんにお聞きした。》 編集部 西田誠

大原にスクラップ

ヤードができて…

その2

②(問) 西田

『』河上敏一さん



(問) 近頃の騒音はどうですか。『基本的には変わらず、鋭い金属音がしています。』

(問) 事業主の会社からは何か話はありますか。

『7月中旬に会社の顧問と言う方が来られ、「迷惑を掛けています、今後気をつけたい。社長が不在なので後日参ります。」4ヶ月なるがそれっきり』

(問) 役所はどうですか。

『大原自治連が古知平町の現状を理解し一緒に動いてくれます。左京区役所が窓口になって担当する関係部局に行っているが、回答は「一部違反もあるが法的に取り締まる条例が無い」事業者に対し、役所からは指導でなく、お願いに行く姿勢だ。とのことです。』

《典型的な騒音公害、静かな古知平

町に公害条例は今まで必要なかった。元の住環境を回復するには事業者にお願いでなく、騒音を規制する法律や条例の制定が必要でないか》

(問) 今後どうされますか。『第1に将来、子や孫たちが騒音の古知平町に戻って住むか、新たに住もうとする人が現れるか。過疎になることが心配だ。』

第2にスクラップヤードを止める条例を作って欲しい。第3に産業廃棄物は規制できるが、再生可能な有価物は規制できない。とっているが、あれは廃棄物だ。資源と考えリサイクルして活用するならば、周辺住民に迷惑のかからない場所と設備を整備してやればよい。古知平町にこの施設が容認できるのかどうか考えて欲しい。』

《河上さんの話を聞きながら

思ったこと。》

騒音や公害を防止する法律や条例は元々あったのでなく、市民の悲鳴と犠牲、役所の模様眺めと後追いの歴史が今なお続く事実です。集められた廃棄物は価値ある「有価物」だから音に「ガマン」という理屈。人の耳はそんな都合よくできていない。有価物もアレは騒音です。

河上さんの言われた3項目は大切なポイントです。古知平町だけの問題でなく大原が迷惑施設の餌食にならぬよう注視すべきと強く感じました。

いま 京都大原学院で

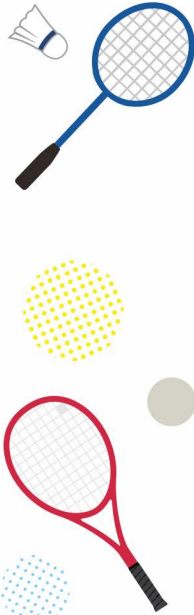
大原学院部活動

■ バドミントン部 ■



11月3日(金) 女子個人戦、12日(日) 女子団体戦・男子個人戦の全市大会が洛星中学校で実施されました。個人戦は女子部員3名と男子部員1名が出場し試合に臨みました。女子個人戦では2名は2回戦まで、1名は3回戦まで勝ち進みベスト16という成績となりました。男子個人戦では惜しくも2回戦に進むことは出来ませんでした。これまでの練習で培った力を発揮した試合展開が

■ ソフトテニス部 ■



見られました。女子団体戦では、1回戦に神川中と対戦し2-0のストレートで勝利しました。2回戦の加茂川中との対戦は接戦でしたが、何とか勝ち進むことができました。つづく準決勝は、春季大会で一度対戦した龍大附属中との試合となりました。この試合も大接戦でしたが、惜しくも1-2で決勝戦に進むことは出来ませんでした。3位決定戦もまた接戦で西陵中を2-1で下し団体戦全市3位という成績をおさめることができました。精神的にも大きく成長が見られた大会でした。

10月22日(日) 全市大会初級の部個人戦に、7年生のペアが予選を突破し出場しました。日ごろの練習の成果を発揮し二人で力を合わせて試合に臨むことができました。また、試合に出場しない部員も応援に駆けつけてくれました。部員数は少ないですが、心のこもった応援のおかげで、見事に府下大会の出場権を勝ち取ることができました! 12月2日(土)に行われる京都府中学生ソフトテニス選抜1年生大会に出場が決まりました。



大原提言



11月8日(水) 今年はい千九百九十九円を会場としてお借りし、9年生の「大原提言」を盛大に行いました。会場の雰囲気緊張しながらも、9年生は堂々と進行・発表を行いました。当日は、鳥取県江府町教育委員会・大阪府田尻町教育委員会が学校視察に来られ、「大原提言」も参観され、大原提言の活動を取り入れたいと絶賛されていました。今年の9年生のテーマを載せておきます。多くの参観をいただき誠にありがとうございます。

【発表テーマ】

- 大原に新しい特産品を作ろう
- SNSを利用して地域をPRしよう
- 大原に謎解きスポットを作ろう
- 大原の魅力を写真で伝えよう
- 大原を主題にした物語を作ろう
- 大原学院とインクルーシブ教育
- 大原のゴミ問題



れんさいマンガ
* 85 *
アズマツネオ



おしゃべり広場

1月29日(月)11時～12時

大原リユース交換会

2月25日(日)11時～15時

※11時～12時

おしゃべり広場を同時開催

2月26日(月)11時～15時

2月27日(火)11時～14時

【おしゃべり広場】

地域交流の楽しい場づくりを一緒に考えてくださる方をお待ちしています！こんなことしてみたい！こんなことってできる？ワイワイおしゃべりしながらワクワクを実現させていきましょう！（井出町 前田明美）

営業時間 11:30～17:00

水曜定休



勝林院町にカフェ「一陽舎」が新規オープンしました。大きなガラス張りの窓のある店内は明るく解放的。メニューは昼食、飲物、ケーキ、デザート。紫蘇ジュース。瓶入のゆず・しょうがシロップの販売もあります。

一陽舎

ICHIYO-SHA

ようこそ
ゆず畑の
カフェへ

10/26 OPEN



オーナーの森口貴元（たかゆき）さんにお勧めを訊ねると「『お野菜のせいり蒸し若鶏の西京焼き膳』です。そして四季折々の景色を店内テラスから満喫していただければ」とのこと。人の絶えない参道沿いを外し、ゆず林と畑の広がる眺望のよいここで大原を見て欲しいというセンスに納得しました。

移住者交流会 お芋ほり イベント

11月12日(日)大原自治連合会主催の「移住者交流会・お芋ほり大会」がありました。子育て世帯を中心に、お手伝いで参加してくださった地域の方々を含め総勢105名が龍池教育財団大原郊外学舎に集合し戸寺町の畑までお散歩しながら歩いて移動。スコップで土を無心に掘る子どもたち「あつた！見てみて！でっかいお芋！」とうれしそうな声があちらこちらから聞こえてきました。たくさん動いた後は地域の方が手作りしてくださったけんちん汁とおにぎりを食べ、午後からは絵を描いたりサッカーをして遊びました。帰りにはみんなで掘ったお芋をお土産にお渡しして楽しい1日が終了。お手伝いくださった方々、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

